



エコアクション21

エコアクション21
®環境省
認証番号 0010782

環境経営レポート2023年度

報告期間: 2022年10月1日～2023年9月30日

作成: 2023年12月20日



快適・環境・創造会社



株式会社ローヤルエンジニアリング

目 次

1	会社概要	p. 1
2	対象範囲	p. 1
3	組織図	p. 2
4	環境経営方針	p. 3
5	環境経営目標・環境経営目標の実績	p. 4
	○ 中長期目標	
	○ 2023年度運用結果(2022年10月～2023年9月)	
6	環境経営活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容	p. 5
7	その他の活動内容と報告	p. 6
	○ エコキャップ運動	}
	○ 地域清掃	
	○ 使用済み切手運動	p. 8
	○ 地域社会貢献活動	
	○ AEDの設置	
	○ 災害支援活動	
	○ コピー用紙の再利用	
	○ 世界の子供たちへの寄付	
8	環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果	p. 9
9	代表者による全体評価と見直しの結果	p. 9

1. 会社概要

1) 事業所名及び代表者名

株式会社ローヤルエンジニアリング

代表取締役 水登 健介

2) 所在地

〒171-0051 東京都豊島区長崎1-11-19

3) 設立

1982年10月8日

4) 資本金

50,000,000円

5) 売上高

32.0億円(2023年度)

6) 従業員数

68名(2023年9月30日 期末従業員数)

7) 事業活動内容

株式会社ローヤルエンジニアリング

特定建設業 管工事業 東京都知事許可(特—1) 第150495号

特定建設業 電気工事業 東京都知事許可(特—1) 第150495号

その他許可を受けた建設業: 特定建設業 東京都知事許可(特—1) 第150495号

建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、石工事業、
屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、
板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、
熱絶縁工事業、建具工事業、解体工事業

・商業ビル、マンション、学校、病院など一般建築物の空気調和設備・給排水・衛生設備・
換気設備・防災設備等に関する企画・設計・施工管理及びメンテナンスリニュアル工事

8) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者・担当者

取締役 工事室工事部長兼任 北野 和博

TEL:03-3959-7371 FAX:03-3959-8020 Eメール:kitano@loyal-eng.co.jp

2. 対象範囲

株式会社ローヤルエンジニアリングは全組織・全活動を対象としています

【本社】東京都豊島区長崎1-11-19 第二藤澤ローヤルコーポ2階,3階,地下1階

【倉庫】東京都豊島区長崎1-11-19 第二藤澤ローヤルコーポ1階

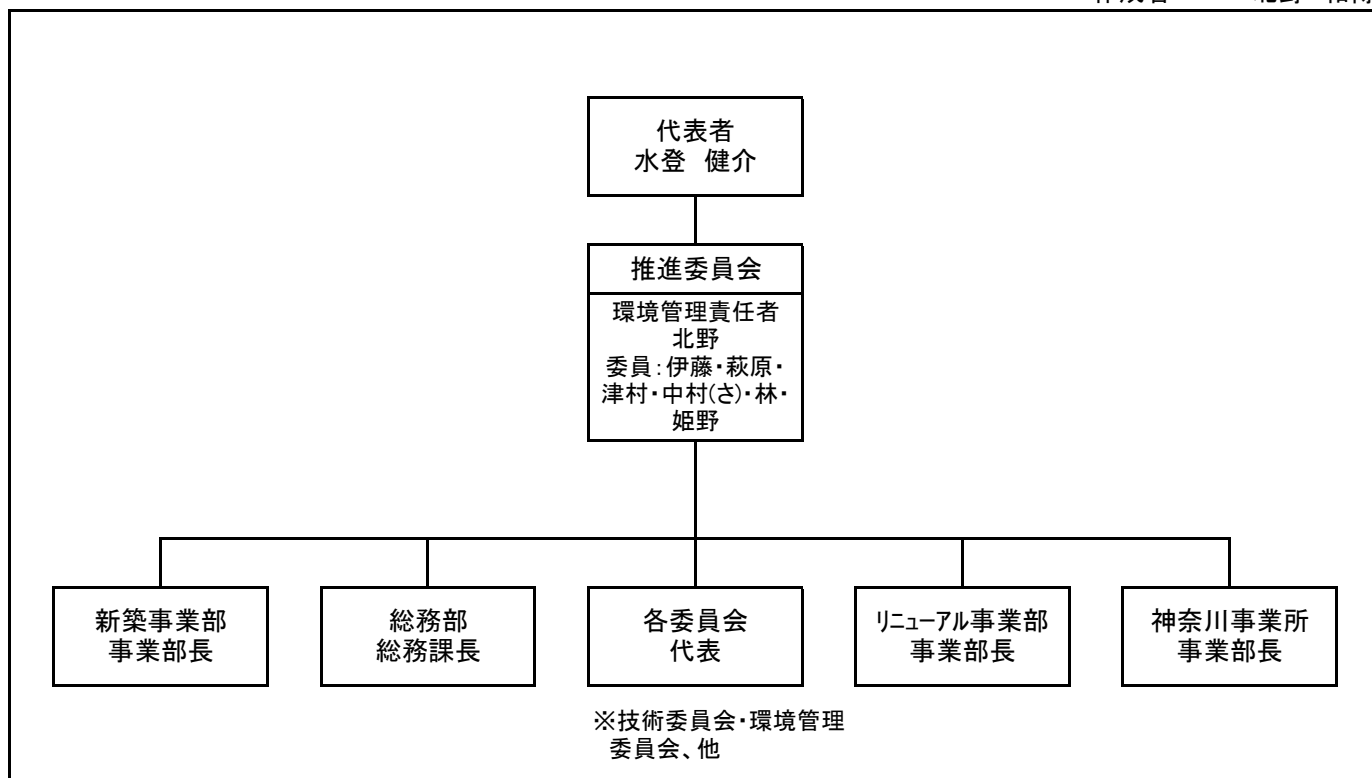
【神奈川事業所】神奈川県横浜市神奈川区新町5-12 YOKOHAMA EAST21 1階,4階

レポート対象期間

2022年10月1日～2023年9月30日

3.株式会社ローヤルエンジニアリング エコアクション21組織図

作成日 2019/10/1
改訂 2021/12/6
作成者 北野 和博



	役割・責任・権限
代表者	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人・情報を用意 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・「経営における課題とチャンスを確認にする」
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する(代表者からEA21の権限を委任) ・実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限) ・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
推進委員会	・環境目標・環境活動実施計画書/実績表の作成 ・教育・訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境活動レポート作成 ・EA21の推進(環境管理責任者の指示を受けて) ・環境への負荷及び取組チェック実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施 ・環境関連文書・記録の管理
総務課長 事業部長	・外部環境情報の窓口(総務部) ・環境目標及び環境活動計画の実施・確認・評価、達成状況の報告 ・環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 ・実施上の問題点の是正・予防処置実施
委員会管理者	・環境配慮を踏まえた機器・施工技術の勉強会開催 ・新製品情報及び外部セミナー情報の展開 ・資材の管理・整備の指示
全従業員	・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・EA21で決められた各自の役割を実施 ・自主的、積極的に環境活動に参加

4. 環境経営方針

基本理念

株式会社ローヤルエンジニアリング（グループ企業含む）は、深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が、人類共通の重要課題との認識にたち、給排水空調換気設備の企画設計、施工、保守管理の事業活動を通して、環境負荷の低減に取り組み地球環境の保全に貢献する会社を目指します。

基本方針

環境経営を推進する為、環境経営システムを構築し、『日本的心を持って、お客様の快適環境を創り出す事を通して地域社会に貢献します。』という経営理念の実現を目指します。
全社員が下記に示す環境への取り組みを自主的・積極的且つ継続的に環境の保全・改善に努めます。

1. 環境負荷を低減するために次の活動を推進します。
 - （1）電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減。
 - （2）事業活動から排出される廃棄物の分別と削減。
 - （3）事務用品のグリーン製品購入。
 - （4）省資源活動として紙の使用量の削減。水の使用量の削減。
 - （5）地球環境に配慮した製品の提案、技術の導入、施工の実施。
2. 現場・倉庫における化学物質の管理方法を徹底し、SDSの周知徹底を図ります。
3. 環境関連の法規制を遵守し、環境保全に努めます。
4. 使用済切手の収集・エコキャップの回収・月1回の近隣道路の清掃を行い地域貢献します。
5. 環境方針は全従業員に周知徹底し、環境保全に関する意識を高め、向上を図ります。

2019年10月1日

株式会社ローヤルエンジニアリング

代表取締役社長

水登 健介

5. 環境経営目標・環境経営目標の実績

中長期目標

活動項目	基準値	基準	2022年度	2023年度	2024年度
1.二酸化炭素排出量削減					
・電力 (kg-CO2)	28,271	2021年度	△1%	△1%	△1%
・ガソリン (kg-CO2)	40,285	2021年度	△1%	△1%	△1%
・CO2合計 (kg-CO2)	68,556		△2%	△2%	△2%
2.廃棄物排出量削減					
・一般廃棄物 (kg)	855	2021年度	△1%	△1%	△1%
・産業廃棄物 (t)	39.6	3カ年平均	△1%	△1%	△1%
3.総排水量削減					
・水道水の削減 (m³)	229	2021年度	△1%	△1%	△1%
4.化学物質適正管理	—	—	SDS収集と品目毎管理	SDS収集と品目毎管理	SDS収集と品目毎管理
5.環境配慮製品の促進(物件数)	4	2021年度	5件	6件	7件

※電力のCO2排出係数は2021年度から変更(R3.1.7環境省公表調整後排出係数0.501kg-CO2/kWhに変更)

※各年度の目標値は1～3までが基準年度からの削減目標となり、5が増加目標となります

2023年度運用結果(2022年10月～2023年9月)

活動項目	基準年度実績	目標	2023年度実績	目標達成状況
1.二酸化炭素排出量削減				
・電力 (kg-CO2)	28,271kg-CO2	-1% 27,989kg-CO2	27,508kg-CO2	○
・ガソリン (kg-CO2)	40,285kg-CO2	-1% 39,883kg-CO2	40,591kg-CO2	×
・CO2合計 (kg-CO2)	68,556kg-CO2	-1% 67,872kg-CO2	68,099kg-CO2	×
2.廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物(機密文書)(kg)	1,005kg	-1% 996kg	855kg	○
・産業廃棄物 (t)	55.7t	-1% 55.2t	39.6t	○
3.総排水量削減				
・水道水の削減 (m³)	229m³	-1% 227m³	243m³	×
4.化学物質適正管理	—	—		
5.環境配慮製品の促進(物件数)	4件	6	13	○

※目標達成状況判定 ○:目標達成 △:目標未達成ただし基準年値以上を達成 ×:目標未達成かつ基準年度値以下

6. 環境経営活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

方針	環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素削減（電力排出量削減）	①事務室照明の昼休み消灯 ②OA機器は省エネ設定にする ③空調の適温化 （冷房時室温28℃暖房時室温20℃） ④クールビズ・ウォームビズの徹底	①各社員が消灯する事が徹底されていた。 ②設定している。（PC担当者の協力有） ③空調の設定温度を決めているが、体感温度、体調管理を考慮し、暖房時実測+3℃の範囲内、冷房時-2℃の範囲内で取組み削減効果有（2,3F）。 ④事務所入口に掲示や社内周知をし実施できていた。	事務所移転予定の為目標値が適正なのかを確認しながら進めていく。活動計画はこれまで通り継続して全社的に取り組んでいきたい。
二酸化炭素削減（ガソリン排出量削減）	①エコドライブの励行 （エコドライブ10のすすめ） ②タイヤ空気圧の定期確認 ③車両整備(定期点検)の実施 ④燃費管理	①エコドライブ運転は定着してきている。 未達の月もあるが、総評して目標達成に至った為、継続していきたい。 ②タイヤ空気圧は忘れがちなので呼びかけが必要。 ③車両整備は定期的に実施出来ている。 ④提出期日を再認識させる。	次年度も目標達成できるよう継続していきたい。
廃棄物排出量削減（一般）	①使用済み用紙の裏紙利用 ②古紙リサイクル ③文書の電子化 ④ゴミの分別回収	①コピー用紙への使用に加えて、各自のメモ書きへの転用など余すことなく使用されている。 ②朝清掃の際に気付いたものが分別配置を行っている。 ③大分推し進められてきている。 ④各自意識を持って対応出来ている。	新入社員にも浸透するよう、全社一丸となり意識を持って対応していく。
廃棄物排出量削減（産業）	①廃棄物の分別 ②保管資材の分別徹底	①新築や大型現場は元請ルールに則り分別されている 小規模物件での分別に関しては、搬出時に大まかではあるが分別を行うようになってきている。 ②機器管理委員会を中心に乱雑にならない様、整理されている。各々が保管時に分別を行う様、声掛けを行行きたい。	基準年度の見直しを行い、継続して活動計画を実施する。
排水量削減	①清掃・洗い物の際、 かけ流し禁止 ②水栓付近に節水札を貼る	①排水量の数値から見て、排水量が減少しているので、かけ流し禁止が根付いている。 ②水栓付近の目線に入る位置に節水札を貼ったことで、節水への意識を高めた。	継続して実施する
化学物質使用量	①最新のMSDSシートの収集 ②化学物質品目等調査 ③有機溶剤の保管庫の整理整頓	有機溶剤保管庫の点検を月1～2回の実施 保管状況、有機溶剤の数量の記録 余剰の有機溶剤などは適時処分していく	継続して実施する
環境配慮製品の販売促進	①省エネ型製品の設計 ②エアコン・給湯器の 省エネ製品の提案・拡販	①物件の規模に順じて設計、対応可であれば提案して ②省エネ製品の提案が増加傾向にある。 契約件数に伴い目標件数を達成している。	基準年度の見直しを行い、継続して活動計画を実施する。

7.その他の活動内容と報告

I. エコキャップ運動

《活動内容》

使用済みペットボトルキャップを集積し、エコキャップ推進協会へ送っています。
2kg分(860個)にてポリオワクチン1人分が購入できます。焼却すると1kg3.15kgのCO2が発生するのでCO2排出量の削減にも繋がります。

NPO法人 エコキャップ推進協会 <http://ecocap.or.jp/>

《実績報告》

2014年～2021年		27,241 個
2022年	4月14日	1,892 個
	4月19日	740 個
	7月15日	989 個
	8月31日	817 個
	9月30日	946 個
	11月18日	645 個
2023年	4月12日	946 個
	5月10日	774 個
	6月27日	1,075 個
	9月6日	851 個

集積容器



【累計： 36,916 個】

II. 地域清掃

《活動内容》

朝清掃の一環として、月初の出勤日に事務所周辺のゴミ拾いを行っています。

《実績報告》



III. 使用済み切手運動

《活動内容》

使用済み切手を集積し、日本キリスト教海外医療協力会へ送っています。
上記協力会によって換金し、バングラディッシュ、パキスタンへの保健医療従事者の派遣等、地域の人々の健康を守るための事業資金として役立てています。

公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会 <http://www.iocs.or.jp/>

《実績報告》

2014年～2019年		9,698 枚
2020年	2月19日	1,228 枚
2020年～2022年3月		休止
2022年	7月7日	1,642 枚
2023年	集計取りやめ(集積は継続)	

集積箱



Ⅳ. 地域社会貢献活動

《活動内容・報告》

当社の近隣で子どもの貧困対策として地域の子どもの地域で見守り支える取り組みをしている【特定非営利活動法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク】への支援をしています。同法人が取組んでいる[暮らしサポート 子ども食堂]、[学びサポート 無料学習支援]、[夜の児童館]、[遊びサポート 池袋本町プレーパーク]等への活動支援として、当社の毎期決算期後に当社の税引後利益の1%を寄付しています。

【今年度の取り組み】

2022年12月 フードサポートプロジェクトのお手伝い

2023年 2月 ライス！ナイス！プロジェクトのお手伝い

2023年 7月 ”すべての子供たちに映画を観る機会を！”をテーマにした活弁映画公演の取組に協賛し、活弁映画に子ども食堂の子ども達をご招待しました。

2023年 8月 第1回自然体験企画の開催

都会の子供たちが自然に触れる機会を作ることで、社会問題でもある体験格差の解消に繋げるために山形県西川町で「自然体験企画」を実施しました。

今年は社員の子供と子ども食堂の子供9名が参加し、カヌーやキャンプなど様々なアクティビティを通して多くの体験をしました。



Ⅴ. AEDの設置

当社では全員が救命技能認定証取得する事を目指し定期的に普通救命講習を受講しています。現在、社員の約7割が認定証を取得しています。2F事務所に設置しているAEDは、社員だけではなく有事の際にどなたでも利用できるよう屋外に設置表示のステッカーを掲示しています。



Ⅵ. 災害支援活動

《活動内容》



国内外で発生する災害に対して、支援活動を行っております。

- ・2011年3月11日 東日本大震災
宮城県・岩手県へ復興支援旅行
- ・2016年4月14日 熊本地震
復興募金活動
- ・2019年10月31日 首里城火災
復興募金活動
- ・2021年4月21日 ミャンマー クーデター
平和な社会を構築するための支援

Ⅶ. コピー用紙の再利用

《活動内容》

社内で使用する用紙は、裏紙を利用しています。

裏紙の使用率は高く、A4が不足したときは、A3を裁断したり、裏側にバツ印を書いて、どちらが表なのか分かりやすいようにしています。

コピー機の故障防止にも配慮し、折れていたり汚れている物、ホチキス止めた物、会社のコピー機で印刷していない物、写真印刷されている物を分類しています。

また、印刷して面が見えづらくなるカラー用紙は、利用しないように呼びかけています。

保管もコピー機の横に設置して、A3・A4のサイズごとにしたり、裏バツ印する赤鉛筆を置いたり、A4サイズは穴あり・穴なしに分けて利用しやすくしています。



Ⅷ. 世界の子供たちへの寄付

《活動内容》

毎月少額ではありますが、弊社では長期に渡りかものはしプロジェクトへの寄付を継続しています。

寄付金は世界の子供たちが暴力や虐待を受けず、安心して暮らせる社会をつくる活動に役立てられています。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規に関して、
2023年 12月20日 遵守評価の結果
違反はありませんでした。

主要な法規	確認内容	評価の結果
廃棄物処理法	産業廃棄物のマニフェスト管理	実施された。
	契約書の確認	問題なし。
	管理表交付等状況報告書	提出された。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

日頃より、委員会活動にご尽力頂き誠にありがとうございます。
昨年指摘した環境目標の設定について、目標未達に対し社員数・車両増加によるco2排出量等に影響していたことが検証の結果判りました。
今後も同じ手法により目標の設定・検証を続けてください。(PDCA)
そして、2024年度は新社屋に移転をしました。
移転を機に委員会メンバーが中心となり環境負荷低減に繋がる運用と更なる社内への発信に期待を致します。
また、サステナブル事業の自己処理型トイレを自社に設置することによりどれだけの貢献が出来るかの検証を行い外部に発信をして行きましょう。
2025年度の結果を楽しみにしております。
引き続き宜しくお願い致します。